

報道各位

新潟市美術館

## 美術館に行こう!

ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方

### 展覧会の開催について

新潟市美術館では、企画展「美術館に行こう!」を開催いたします。

本展は、1997年出版の絵本『うきこちゃん びじゅつかんへいく』をガイドに、ミッフィー(うきこちゃん)と一緒に新潟市美術館の所蔵品を巡るものです。ミッフィーの生みの親である絵本作家、グラフィック・デザイナーのディック・ブルーナのデザインワークもあわせて展示し、「うきこちゃん」シリーズ制作の秘密に迫ります。

つきましては、取材・広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

#### ◆ 展 覧 会

「美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」

会 期：4月8日(土)から5月28日(日)

休 館 日：月曜日[5/1 は開館]

開館時間：午前9時30分～午後6時

観 覧 料：一般 1200円(1000円)大学生・高校生 1000円(800円)  
中学生以下無料

※()内は前売料金(一般のみ)、団体料金(20名以上)・リピーター割引料金  
あっちも割引料金

#### ◆プレス向け内覧会

日 時：4月7日(金)午後3時～午後5時

午後3時から30分程度担当学芸員の案内、展示室内撮影対応など  
※時間内はいつでも取材可能です。

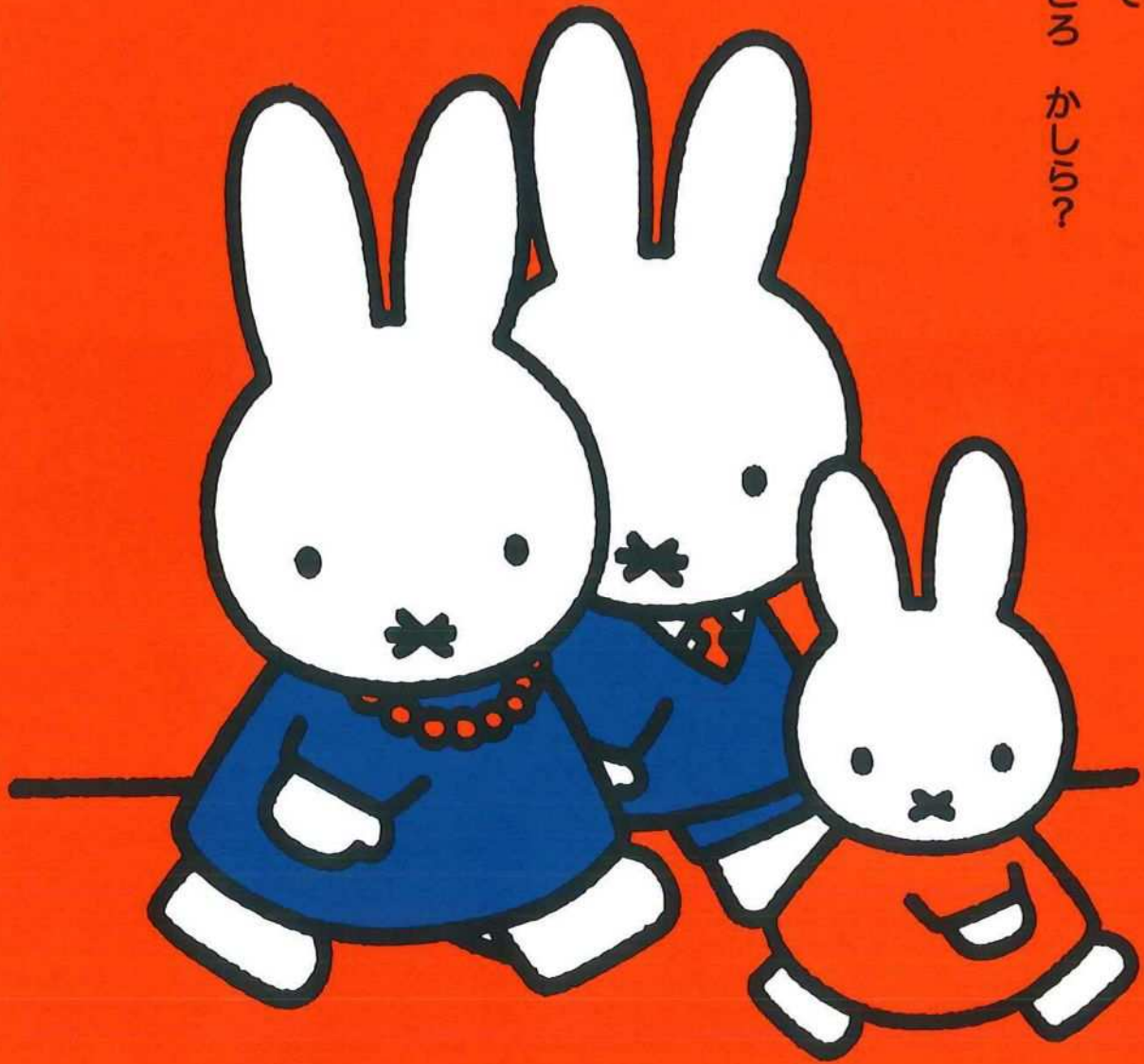
参加希望の方は、前日までFAXまたはメールで事前にお知らせください。

お問合せ先  
美術館に行こう展実行委員会  
(事務局:新潟市美術館 上池・菅沼)  
TEL 025-223-1622 (直通)  
MAIL museum@city.niigata.lg.jp

🐰	び	しゅつ	かん	に
い	美	術	館	に
行	こ	う	!	🐰

ディック・ブルーナに学ぶ  
モダン・アートの楽しみ方

びじゅつかんって  
どんなところかしら？



2023ねん  
4がつ8にち(土)  
~ 5がつ28にち(日)

主催：新潟市美術館、NST新潟総合テレビ  
共催：新潟日报社

協賛：MISAWA ミサワホーム北越

新型コロナウイルス感染症対策にご理解とご協力をお願いします。  
詳しくは新潟市美術館ウェブサイト「新着情報」をご確認ください。

新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9  
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051

休館日：月曜日 \*ただし5月1日は開館

開館時間：9時30分～18時 \*観覧券の販売は17時30分まで

前売券：1,000円(一般のみ) \*販売期間：3月3日(金)～4月7日(金)

(前売券販売所) 新潟市美術館、新潟市新津美術館、インフォメーションセンターえん(新潟日報メディアシップ1F)、  
新潟伊勢丹、セブン・イレブン(セブンコード：099-281)、ローソン(Lコード：31948)

当日券：一般1,200(1,000)円 / 大学・高校生1,000(800)円 / 中学生以下無料

\* ( )内は20名以上の団体料金

\* リピーター割引(「本展観覧券の半券」のご提示で本展2回目は、団体料金を適用)

\* あっちも割(「2022年4月以降開催の新潟市新津美術館の企画展観覧券の半券」のご提示で、団体料金を適用)

\* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい)

\* 会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご覧いただけます。

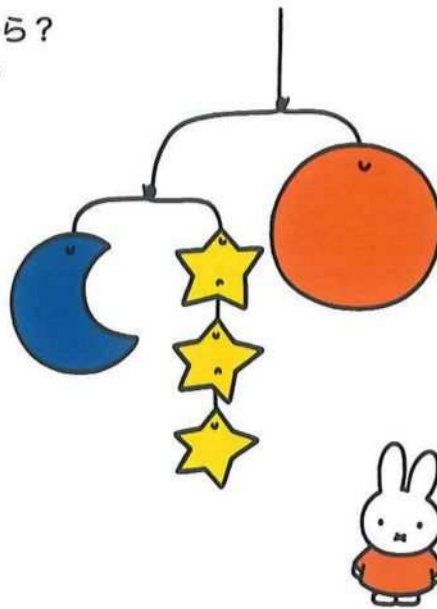
特別協力：ディック・ブルーナ・ジャパン/Mercis bv 協力：福音館書店、MITSUWA 企画協力：キュレーターズ

Illustrations Dick Bruna © copyright Mercis bv, 1953-2023 www.miffy.com



びじゅつかんって どんな ところかしら？  
 なんだか おもしろそう。わくわくして  
 ひとりでに あしが はずみます。

『うさこちゃんびじゅつかんへいく』  
 (ぶん/え: ディック・ブルーナ、  
 やく: まつおかきょうこ、  
 福音館書店、1997年) より



美術館に  
 行こう!  
 ディック・ブルーナに学ぶ  
 モダン・アートの楽しみ方



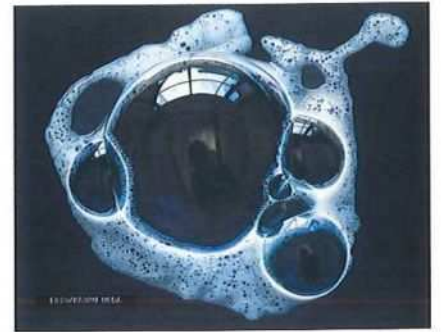
Photo: F. André de la Porte



パウル・クレー《ブルンのモザイク》1931年 新潟市美術館蔵

### 見てみよう

絵本『うさこちゃんびじゅつかんへいく』(オランダ語版タイトル:nijntje in het museum)は、ミッフィー(うさこちゃん)がおとうさん、おかあさんとはじめて美術館にやってきて、作品に驚いたり感動したりするお話です。今回ミッフィーは新潟市美術館の名品に出会います。絵本と同じく「ほんものそっくり」「わたしにだってかける」「まあ、きれい」とお話ししながら、一緒に絵画や彫刻を楽しみましょう。



上田薫《あわH》1980年 新潟市美術館蔵

### 考えてみよう

ミッフィーの生みの親、ディック・ブルーナ(1927~2017)は、オランダを代表する絵本作家、グラフィック・デザイナーです。展覧会後半では、ポスターやブックデザイン、絵本の主人公たちのイラストなどのデザインワークを展示。シンプルな線と色で見る人の想像力をかきたてるブルーナの工夫を考えよう。



《青いかさ》『ほりすそらをとぶ』(1999)より

### 作ってみよう

会期中、いつでもだれでもブルーナのデザイン手法を体験できる創作コーナーがあります。



草間彌生《南瓜》左から小・1983年、中・1985年、大・1985年 新潟市美術館蔵

#### ● 関連イベント

【美術講座】「ディック・ブルーナとモダンアート」  
 日時: 4月22日(土) 14時~15時半  
 講師: 前山裕司(新潟市美術館館長)  
 会場: 講堂  
 \*申し込み不要、定員80名(先着順)  
 \*聴講無料

#### ● 同時開催

コレクション展Ⅰ 3月25日(土)~5月28日(日)  
 学芸員のコレクション展ギャラリートーク  
 4月29日(土・祝)、5月27日(土)  
 両日とも14時~(約30分)  
 \*申し込み不要、直接展示室へお越しください。  
 \*当日の観覧券が必要となります。

#### ● Lounge N きままプログラム

その場で誰でも気軽に参加できる造形プログラムを開催します。

#### ■ 新潟市新津美術館の展覧会 tel: 0250-25-1300

『佐川美術館コレクション 平山郁夫が描く 世界遺産展』  
 4月15日(土)~6月18日(日)



#### 交通のご案内

- バスで(新潟駅万代口バスターミナルから)
    - ・[B1 萬代橋ライン(BRT)など]乗車約10分→「古町」バス停下車→徒歩12分(バス停から美術館まで約860m 最も便数が多いバス停からのアクセスとなります)
    - ・[C 6八千代橋線]乗車約16分→「西堀通八番町」バス停下車→徒歩5分(便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停からのアクセスとなります)
  - タクシーで 新潟駅万代口から約10分
  - 自動車で(無料駐車場最大46台)
    - A: [高速道路]日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳郡大橋経由で約20分
    - B: [国道8号線(新潟バイパス)]紫竹山ICを降り、柳郡大橋経由で約15分
- \*当館駐車場は混雑するおそれがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

## 新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
 tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051  
 www.ncam.jp  
 e-mail: museum@city.niigata.lg.jp  
 facebook @ncam.tsunagaru  
 Instagram @ncam\_official